

タイ、台湾の留学生がミニバイアスロン大会で出場

7月25、26の両日、キトウシ森林公園で北海道バイアスロン連盟（札幌）が主催して2015東川ミニバイアスロン大会を開きました。各



種大会成績（25歳以下）
小学1年生から74歳まで48人がエントリーしました。初日は参加者を対象にした同競技の説明講習会。2日目にタイムレースを行いました。今年4回目開催の東川大会は、昨年から道内4大会を対象とした年間ポイント制の対象大会になっています。

夏季はランニングまたはローラーズキー、冬季はクロスカントリースキーと射撃を組み合わせる競技。同連盟では昨年から選手層の拡大、オリンピック級選手育成に向けて取り組みを始め、道内小、中学生の養成を始めました。この日は札幌、倶知安、東神楽、新得の各市町から選んだ6人も出場しました。

レーシングをしている日本語留學生のペッシィシャイ・パタラさん（20）、ジャバギア・ニアマートさん（23）以上タイ王国、蔡承毅（サイ・シヨウエイ）さん（29）台湾の3人と、7月まで町スポーツ国際交流員として勤めたトリグバ・マルクセツトさん（26）ルウエー王国も出場。トリグバさんは、ローラーズスキーで途中コース選択を誤って200メートル以上長く滑ってしまったにもかかわらず、高校以上一般部門で2位を1分以上離してトップゴールする速さを見せました。

20周年の羽衣音楽祭

8月23日、東川イベントスポーツクラブが主催して羽衣公園で第20回羽衣音楽祭を開きました。



旭川圏域のアマチュアバンドにとつて、今や野外コンサートのメッカ。20周年記念の今年、旭川、東川町内などで活動する初出場5グループなどアマチュアバンド12グループに加えて、特別出演として6人組アイドルグループ「きゅい〜んズ」から3人編成のトリオが出演しました。旭川市内のグループ「小者のコーラ」は20年連続出場。「祝羽衣場」祝羽衣場。小者は50周年も出場するぞ〜！とお祝い横断幕を用意して会場を盛り上げ、変わらぬ熱演で盛大な拍手を浴びました。

ホームマック社員が今年も植樹

8月5日、東3号北6線の町有林で、ホームマック（札幌、石黒靖規社長）の旭川市内5店、富良野店、札幌市内店の社員45人が昨年に続いて森づくりの植樹をしました。

の紙ポット苗120セット360本を用意しました。地元企業の森づくり社会貢献として昨年から取り組み始めたそうです。昨年に続いて約0.4畝に植樹し、後日下草刈りも行って定着を促すそうです。



林間コースでヒルクライムローラーズスキー大会



タイのジャバギア・ニアマートさん(手前左)

8月23日、キトウシ森林公園の林間特設コースで第3回全道ヒルクライムローラーズスキー東川大会を開きました。

ら参加した最高齢、今野真由美さん（74）ら6人がエントリー、森林公園内の「物産センター」展望駐車場間2キロ、高度差165メートルを一気に駆け上がるハードなコースに挑みました。今野さんは、ミニバイアスロン大会（7月26日）に続いての出場。乳がん手術、リンパ節手術を克服して機能回復のために始めた運動で、今大会も完走を果たしました。高校男子優勝したのは、双子の兄弟で出場した兄、フィンンドレー咲夢君（17）富良野高2年。弟のフィンンドレー登夢君（17）恵庭南高2年。は1本目にスキーが外れてタイムが伸びず7位入賞にとどまったものの、ともに今季インターハイ優勝を狙っているそうです。

韓国から2年ぶり来町、サッカー少年団が交流



東川サッカー少年団対ヨンウォル郡チーム戦「前半終了間際、東川・石井陽大君(東川小4年)が先制ゴール」

8月17日、ゆめ公園サッカー場で東川サッカー少年団と韓国カンウォンド（江原道）ヨンウォル（寧越）郡、チョンラプクト（全羅北道）チャンス（長水）郡の少年サッカーチームが親善交流しました。来町したのは、ヨンウォル郡から同

郡小学校の9歳から12歳18人、チャンス郡からはチャンス小学校の12、13歳18人ら合わせて46人。日本側は、東川サッカー少年団22人と、旭川圏域のジュニアサッカーチームとして昨年誕生した少年サッカーチーム、Neath（ニース）から24人が参加して4チームで交歓試合を行いました。翌日はロープウエーで旭岳に登り、旭山動物園を訪れて東川・旭川観光も満喫しました。ヨンウォル（寧越）郡と東川町は写真の町文化交流をきっかけに、2010（平成22）年11月に文化交流協定を結びました。チャンス（長水）郡と東川町は、町職員を郡庁に半年間派遣したことがきっかけとなって交流が始まりました。

日本語研修生文化交流会

7月23日、北工学園で日本語を習っている町日本語研修生が農村環境改善センターで文化交流会を開きました。タイ、インドネシア、中国、ロシア、ウズベキスタン、ベトナム6カ国から来町して日本語を学んでいる短期日本

語研修生約70人が出演しました。持参した民族衣装を着て独自の民族舞踊や歌声を披露。お互いの国の文化や観光名所など特徴的な文化をスライドや映像で紹介しました。

